

Q 深原公園駐車場の管理

A 駐車場の警ら強化するとともに、状況に応じた適切な対処に努める。
(三村町長・森本建設部長)



▲深原公園駐車場

Q1 公園において、夜間、様々な問題が発生しているが、把握しているか。
また、どのような対策を考えているのか。

A1 煙草、飲食の空容器、空ビン・空缶、花火の散乱、グラウンド内でのバイク走行、花木の損傷等を把握している。
開園当初、夜間は駐車場を閉鎖していたが、ウォーキング等夜間の利用者が増えたため24時間開放とした。
現在、夜間については熊野交番に周辺のパトロールをお願いしており、引続き交番と連携し、警ら強化する。



◀回収された散乱物

Q2 利用者のためにも、閉鎖することなく、教育上のことも含めて、例えば、放送を流すとか、もっと具体的に対策を進めてはどうか。

A2 放送も一つの手段であると考えている。予算のことを考えながら検討する。

Q 県道矢野安浦線の道路舗装工事

A 安全な通行を確保するために、引き続き県と連携して対応していく。
(森本建設部長)



▲川角交差点

Q1 町内を縦断する県道矢野安浦線の交通量は増加傾向にあるが、県道舗装の劣化している箇所が見受けられる。このような劣化した舗装箇所を修繕する改修計画を県は考えているのか。

A1 県は、パトロールにより対応が必要な個所の補修等を実施している。町も発見次第、管理する西部建設事務所と連絡をし、随時対応を頂いている。
県では、昨年8月に定期点検の実施等を盛り込んだ「広島県舗装修繕方針」を取りまとめたと聞いている。

Q2 今年度の整備計画は。

A2 県は、川角交差点から熊野郵便局までの事業を実施している。
火の原交差点から呉地橋までの区間の内、現在4車線化部分の用地買収を約2億円の予算により実施する予定であると聞いている。

Q3 今後どのような計画があるのか。

A3 県で、今年度から次期道路計画の策定作業に入る。町としては、川角工区の早期完成を県に強く要望していきたい。



Q 第4期障害福祉計画

A 計画を基に、関係機関との連携を密にし、ともに安心して暮らせるまちづくりに努める。(三村町長・清代民生部長)

Q1 平成27年度から新たに事業を開始する訪問入浴サービスとは。

A1 訪問入浴サービスは、看護職員と介護職員が自宅を訪問し、居室内に専用の浴槽を設置して入浴介助を行うもので、重度の身体障害等で自宅の浴槽では入浴が難しい人が、受けるサービスである。
今後、事業実施要綱を整備し、事業を開始する。

Q2 障害児の移動支援とは。

A2 障害児が社会参加等のために移動する際に、移動介助をするサービスである。
基本的には、定期的な通院や通学はサービスの対象外である。

Q3 障害福祉計画の中に「広く周知して利用促進を図る。」とあるが具体的な方法は。

A3 広報・ホームページへの掲載。
また、対象者となる重度身体障害者に、必ず付いている計画相談者やサービス提供事業所からも案内をお願いする。

Q4 他の市町の障害福祉計画では、「重点取り組み項目」が明記されているが、熊野町では明記されていないのはなぜか。

A4 本町では、項目出しを行っていないが、それぞれの本文の中には記載している。
次期計画策定においては、他の市町の計画を参考に、分かり易いものにしていきたい。

建設 部門

Q 県道整備の推進

A 一日も早い工事完了を目指していきたい。(森本建設部長)



Q1 役場前交差点の東西方向への歩行者用信号機の設置は。

A1 県と公安委員会との協議の結果、本年7月末頃には、設置予定であると聞いている。

Q2 県道矢野安浦線における「出来庭地区の整備計画」は。

A2 今年度はスーパー「デオ」付近の用地買収と物件補償を行う予定と聞いている。

Q3 東広島呉道路の全面開通により、町内の交通量が増加した気がするが、交通量調査は実施したか。

A3 本年4月以降は実施していない。
慢性的な渋滞が発生し、この原因調査を早期に行うために県と協議中である。

Q4 今後の県道改良事業の喫緊の課題は何か。

A4 槇ヶ迫交差点は、呉地方面への右折車が多く渋滞の原因となっている。
また、役場前交差点から阿戸別れ交差点までの間で慢性的な渋滞が発生している。
県は、県道矢野安浦線を、広島市内と広島空港を結ぶ山陽自動車道の代替え道路と認めており重要な路線と認識している。
このため、県との体制を更に強化し、一日も早い工事完了を目指していきたい。



▲槇ヶ迫交差点